

# 1. “**サニキルト**”の特徴について

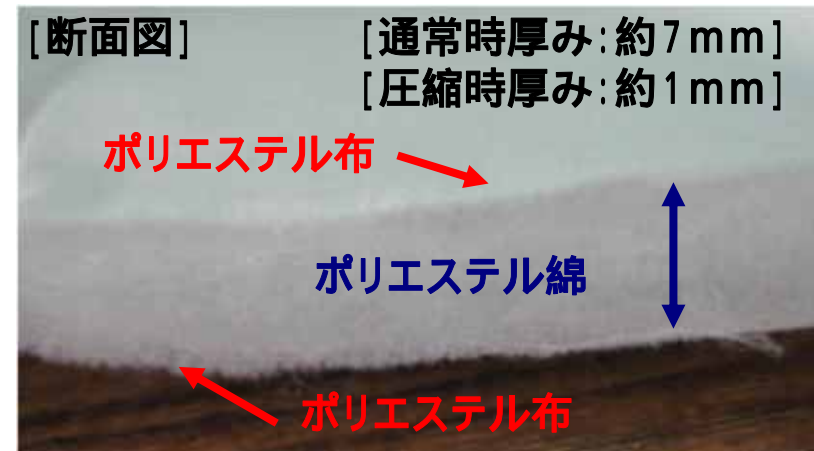
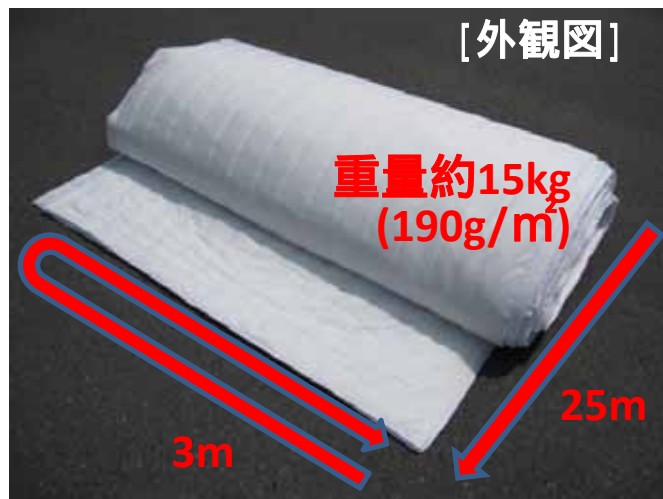
## サニークルトの特徴

### 1. コンセプト:

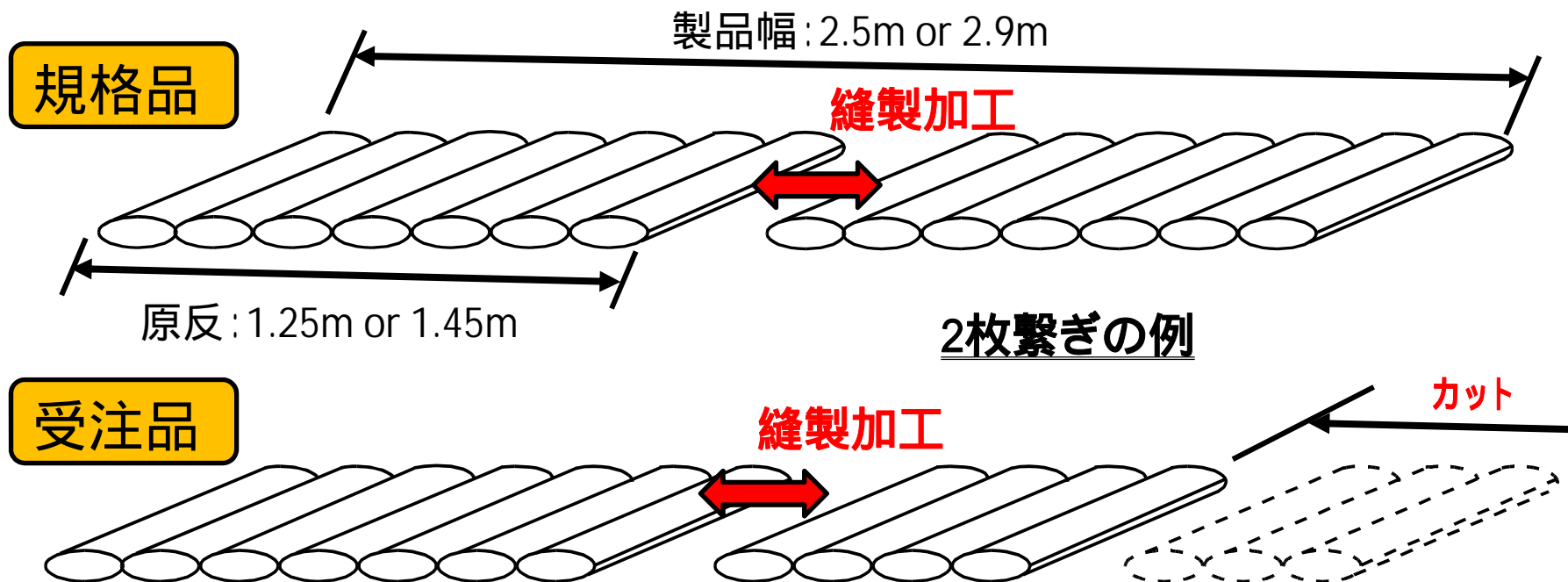
- ・保温性能の向上(暖房費節減)
- ・防寒衣料資材の活用(コスト削減)
- ・優れた収束性(既存設備との融合、作付け面積の確保)

### 2. 構造:

外皮 / 中綿 / 外皮 を縫製加工にて一体化させた  
サンドイッチ構造



## 製品規格:



## サニーキルトの規格幅の一例 (cm)

1	125	5	370
2	145	6	390
3	250	7	415
4	290		

最大加工実績値: 幅11m × 長さ30m  
幅5.63m × 長さ68m

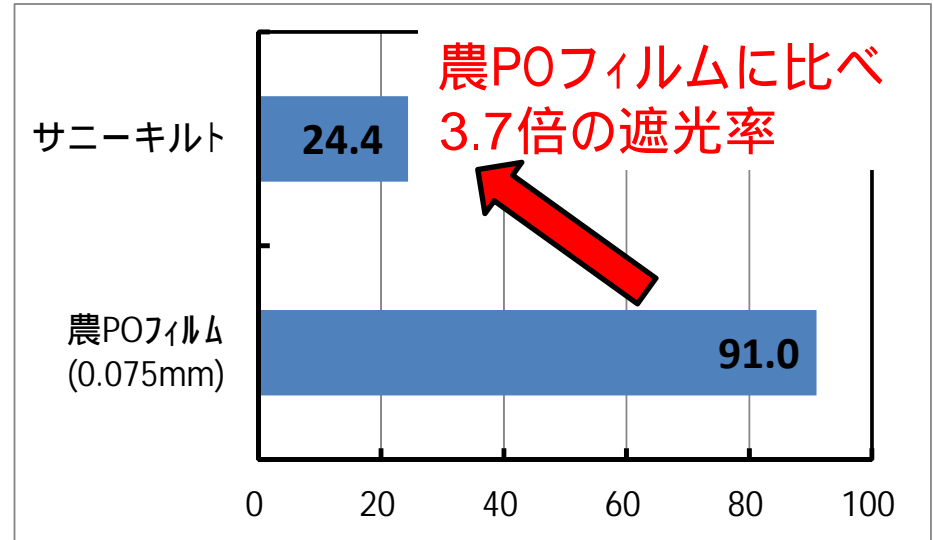
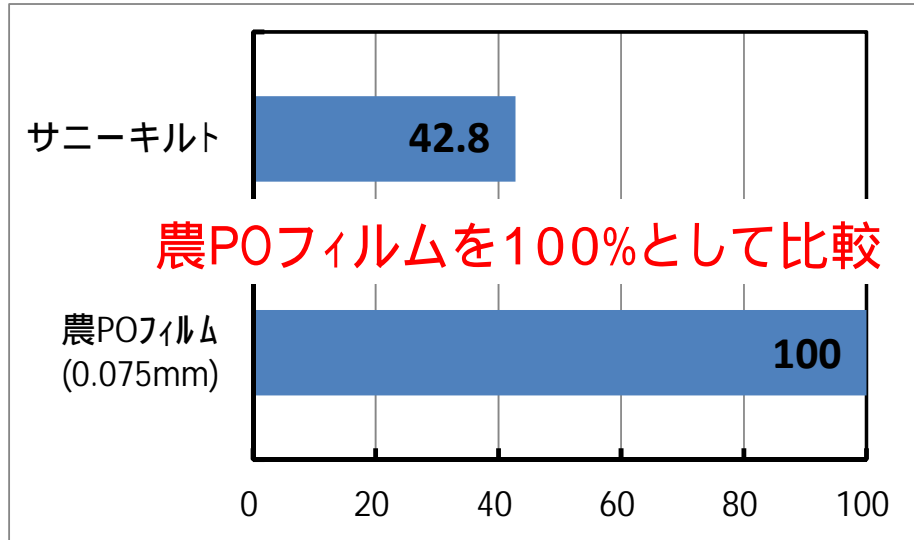
## 製品規格：標準規格及び0.5列の組合せ

【サニーキルト 組合せ表】

単位 (m)

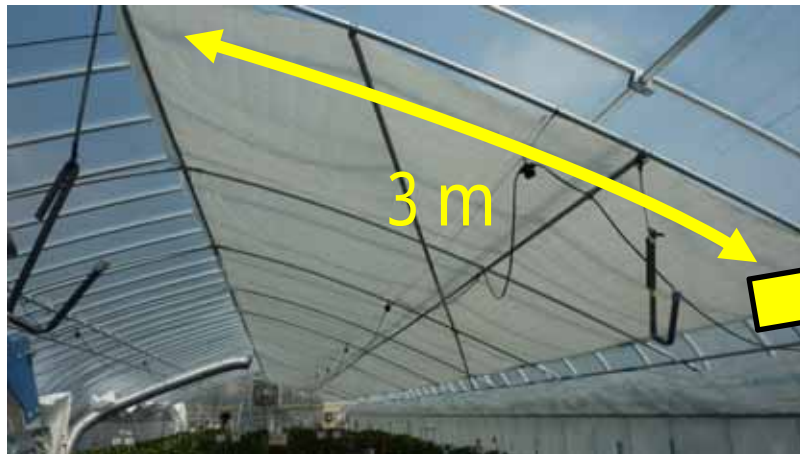
		1.45										
		列	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
列	幅	0.73	1.45	2.18	2.90	3.63	4.35	5.08	5.80	6.53	7.25	
1.25	0.5	0.63	1.35	2.08	2.80	3.53	4.25	4.98	5.70	6.43	7.15	7.88
	1.0	1.25	1.98	2.70	3.43	4.15	4.88	5.60	6.33	7.05	7.78	8.50
	1.5	1.88	2.60	3.33	4.05	4.78	5.50	6.23	6.95	7.68	8.40	9.13
	2.0	2.50	3.23	3.95	4.68	5.40	6.13	6.85	7.58	8.30	9.03	9.75
	2.5	3.13	3.85	4.58	5.30	6.03	6.75	7.48	8.20	8.93	9.65	10.38
	3.0	3.70	4.43	5.15	5.88	6.60	7.33	8.05	8.78	9.50	10.23	10.95
	3.5	4.38	5.10	5.83	6.55	7.28	8.00	8.73	9.45	10.18	10.90	11.63
	4.0	5.00	5.73	6.45	7.18	7.90	8.63	9.35	10.08	10.80	11.53	12.25
	4.5	5.63	6.35	7.08	7.80	8.53	9.25	9.98	10.70	11.43	12.15	12.88
	5.0	6.25	6.98	7.70	8.43	9.15	9.88	10.60	11.33	12.05	12.78	13.50

# サニーキルトの特徴

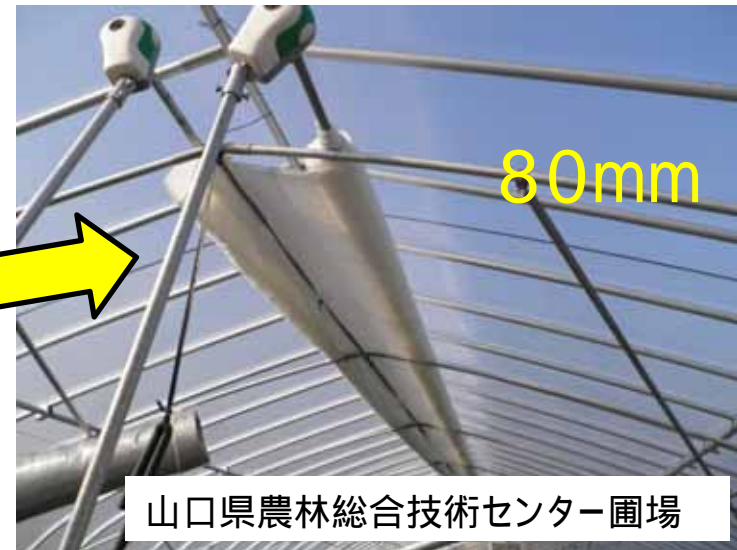


熱貫流係数比較 (W/m<sup>2</sup>/°C) 農研機構調べ

全光線透過率 (%) JIS K 7136



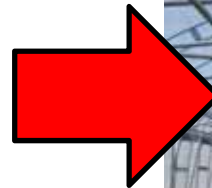
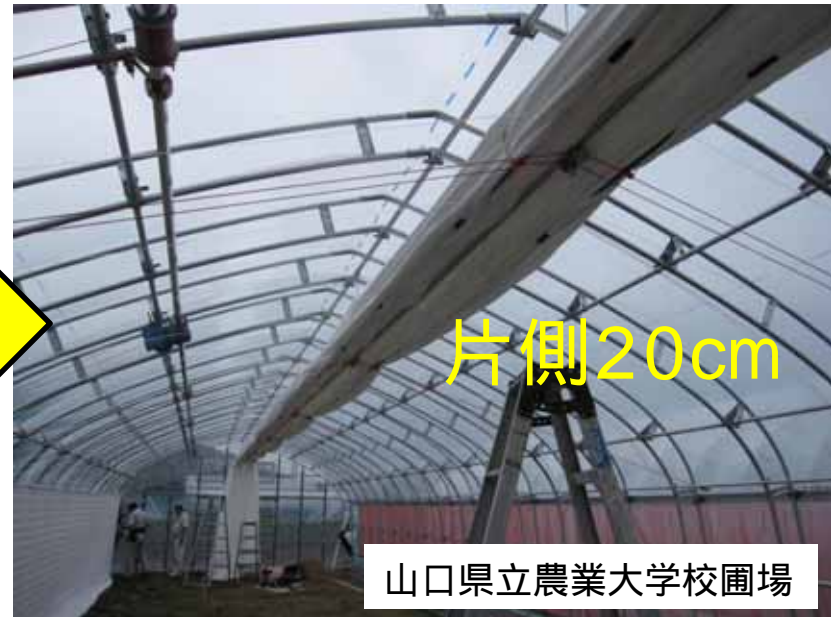
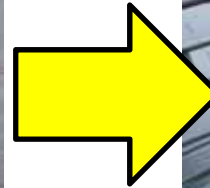
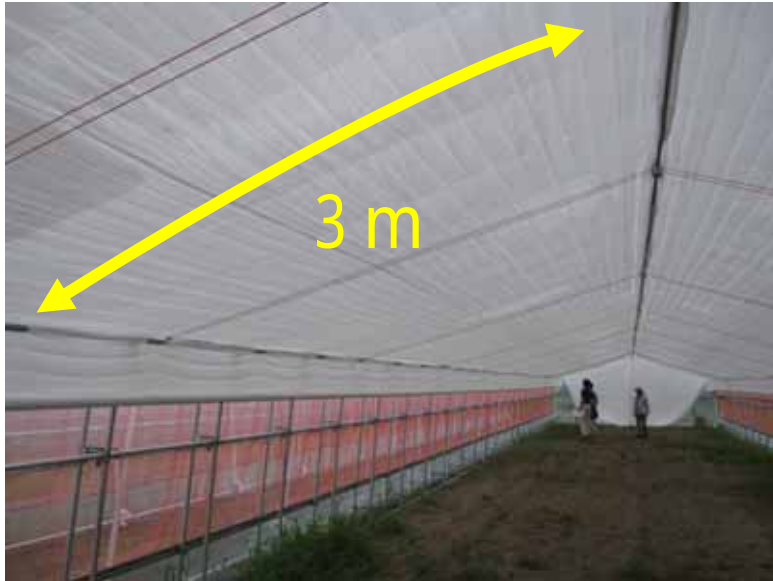
フィルム並の高い収束性



山口県農林総合技術センター圃場

# サニールフィルトの特徴

## 施工例に見る収束状態



## 耐摩擦性(対コーティングワイヤー)

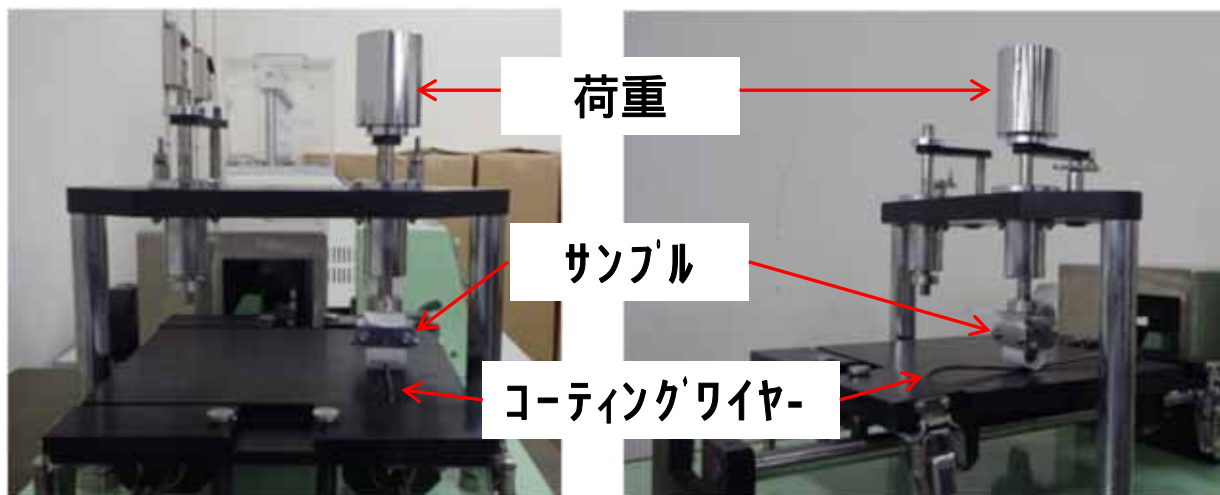
### 摩耗試験内容

サンプル : サニーキルト外皮、スパンボンド(ラフシート)、農POフィルム(0.075mm)

測定方法: 平面摩耗試験機にサンプルとコーティングワイヤーをセット。

荷重1kgにてサンプルを往復させて1往復を1回として破れ回数を測定。

### 試験機写真



### 摩擦試験結果

サンプル	破れ回数(回)
サニーキルト	5,100
スパンボンド	900
農POフィルム	70

優れた耐摩擦性

## 吸湿試験結果

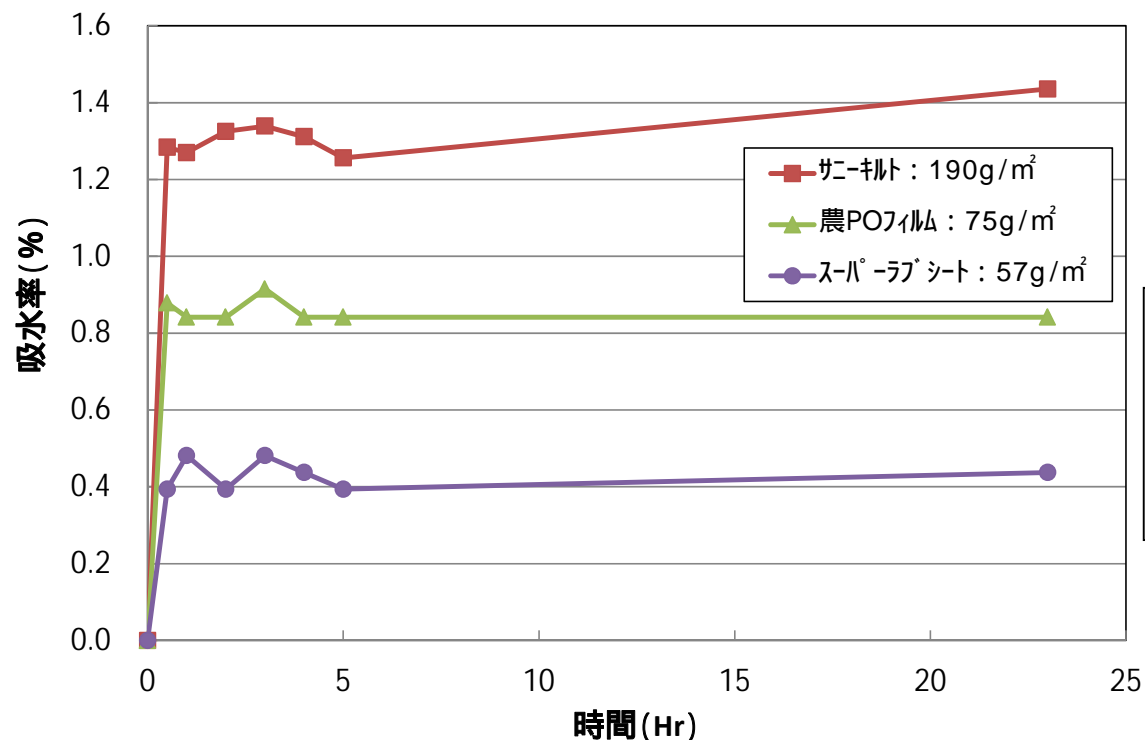
### 吸湿試験

サンプル: サニークルト外皮、スパンボンド(スーパーラフシート)、農POフィルム(0.075mm)

測定方法: サンプルを20×20cmにカットし、100℃の乾燥機にて1時間乾燥して重量を測定(ohr)

乾燥後のサンプルを20℃×90%RH中の恒温恒湿槽に入れて

所定の時間毎に重量を測定し、重量変化から吸湿率(%)を算出。



慣行資材(0.44~0.88%)  
に対し約1.6倍(1.44%)  
の吸湿



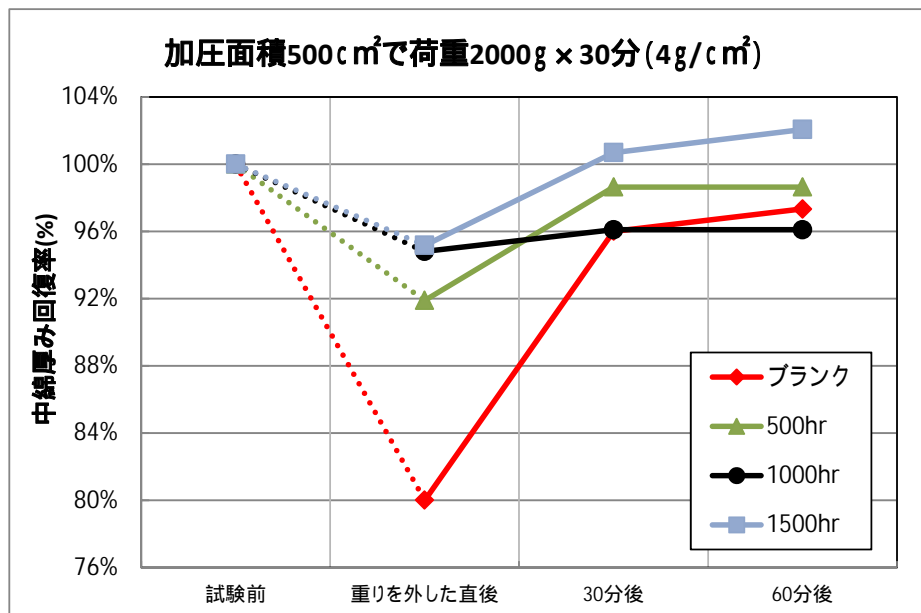
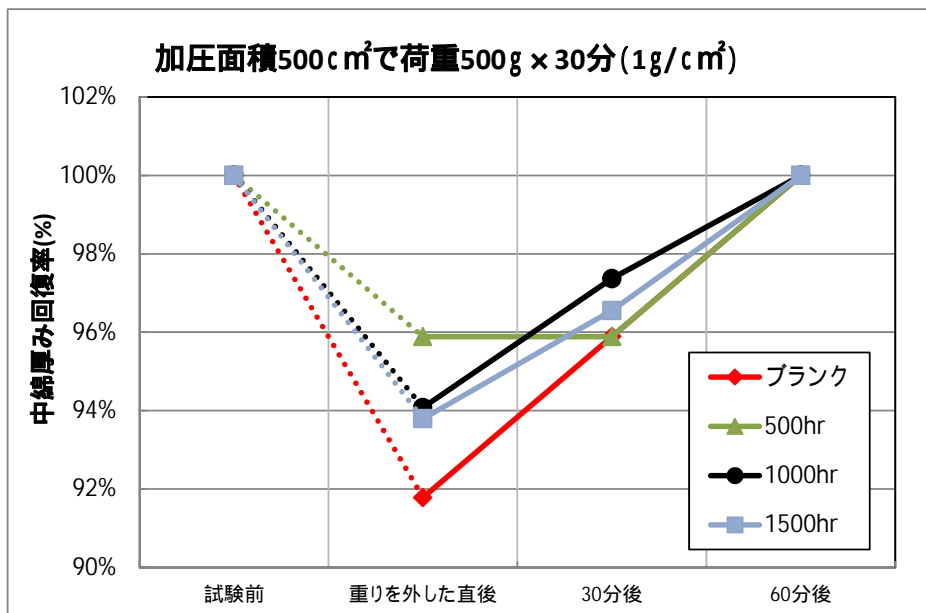
## 中綿の嵩回復性

### 試験方法

中綿単体に加圧をし、一定時間経過後に開放した時の嵩回復度を測定。

加圧条件：加圧面積 $500\text{cm}^2$ で 荷重 $500\text{g}$  ( $1\text{g}/\text{cm}^2$ )、 $2,000\text{g}$  ( $4\text{g}/\text{cm}^2$ )

加圧時間：500時間、1,000時間、1,500時間



優れた嵩回復性を示す